

児童の主体的な探究を深める生活科の指導の工夫
～「あきとふれあおう」の学習を通して～

日立市立豊浦小学校

1 はじめに

本校では、「一人一人が夢をもち 心豊かに自ら学ぶたくましい児童の育成」の学校教育目標と、「根拠を基に思考し 豊かに表現し共に高め合う児童の育成」の組織目標のもと「思考力・表現力を育む学習指導の在り方」というテーマで学校課題研究を行っている。生活科では、「体験学習の場を通して、身近な自然や人、地域とのかかわりを深められる指導方法の工夫に努める」とと、「体験と表現の一体化を意識して指導にあたり、言語活動の充実を図る」ことを努力目標としている。本学習では、校庭や近くの公園で秋を探し、諸感覚を使って秋を感じたり、遊んだりしながら自然の不思議さに気付けるように学習活動を展開したものである。

2 指導案等

(1) 単元名 あきとなかよし「あきとふれあおう」

(2) 目 標

- ①身近な自然に関心をもち、それらと関わる活動を行うなどして、楽しく生活しようとしている。
(生活への関心・意欲・態度)
- ②秋の花や実などの自然物や身近な材料を使って、工夫して作品を作ったり遊んだりすることができる。
(活動や体験についての思考・表現)
- ③夏に比べて、身近な自然の様子が変化したことに気付くことができる。
(身近な環境や自分についての気付き)

(3) 指導にあたって

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」(6)「自然や物を使った遊び」に基づいて設定されている。諸感覚を使って自然とふれ合ったり、関わったりすることで自然のすばらしさを十分に味わいながら、その特徴や性質などをとらえ、四季の変化や季節によって生活が変化していく様子を気付くことをねらいとしている。

事前調査 (令和元年9月10日 男子14名 女子12名 計26名)

①外遊びは好きですか。	はい 23名	いいえ 3名
「いいえ」と答えた理由…外で遊ぶより、絵を描いたり、本を読んだりの方が好きだから。 3名		
②休み時間は、外遊びをしていますか。	はい 23名	時々遊んでいる 3名 いいえ 0名
③外でどんな遊びをしていますか。	おにごっこ 11名	ジャングルジム 7名 虫捕り 6名 ドッジボール 2名

本学級の児童は、外遊びが好きで、休み時間はほとんどの児童が外で遊んでいることが事前調査からも分かる。しかし、鬼ごっこやジャングルジムなどの遊びが中心で、自然とかかわりながら遊んでいる児童は少ない。外遊びをあまり好まない児童や、自然とはかかわりのない外遊びをしている児童も、生活科の学習には意欲的に取り組んでいる。1学期の「白山前公園探検～春をみつけよう～」では、公園の草花を熱心に観察しながら、観点をしっかりおさえ、ワークシートにまとめることができた。このような体験から、自然に対する意識が高まっている。

本単元の指導にあたり、身近な学校の校庭から秋探しを始め、秋がたくさん見付けられそうな「白山前公園探検」へと出かける段階的な学習の場を準備して、諸感覚を使って秋を感じたり、遊んだりしながら秋の自然と親しむことができるよう学習を展開していく。落ち葉や木の実、草花などを生かし、自然と直接かかわりながら遊ぶことを通して自然の不思議さに気付くことができるようにしたい。また、集めてきた落ち葉や木の実、草花を使って製作活動を行う。表現活動では、季節について気付いたことを絵や文章に表現する活動や友達と紹介し合う時間を多く設けたり、製作活動をする中で、友達に「うまいったこと」や「工夫したこと」を伝え合ったりしながら豊かに表現し、気付きの質が高められるようにしていきたい。

(4) 指導計画(11 時間取り扱い)

次	時	主な学習内容	関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
1	1 2 (本時)	・校庭探検を行い、春や夏と同じところや違うところを見付ける。 ・見付けた秋を、ワークシートに記入する。 ・自分の見付けてきた秋について紹介し、夏と秋の違いを見付ける。	・身近な秋を進んで見付けようとしている。	・秋の自然物を生かして、どんな遊びができるかを考えたり、試したりしている。	・夏のころと自然の様子が違うことに気付いている。
2	3 4 5 6	・秋の白山前公園でどんな秋が感じられるか想像しながら話し合う。 ・秋の白山前公園で諸感覚をつかって秋を感じたり、比べたり、言葉で表現したりしながら秋と親しむ。	・見付けた秋を諸感覚を意識し、思い出そうとしている。	・秋の感じ方、見つけ方を自分なりに考えることができる。	・紅葉の美しさや秋風の心地よさなどに気付いている。
3	7	・秋の白山前公園で見付けたことや面白かったことを話し合う。	・公園であそんだこと、見付けたことの発表を通して活動に見通しをもっている。	・公園で見付けた秋を比べたり、たとえたり、言葉で表したりすることができる。	・いろいろな色や形、大きさの葉や実があることに気付いている。
4	8 9 10 11	・集めてきた落ち葉や木の実、草花などを使って工夫して遊ぶ。 ・公園で集めてきた、落ち葉や木の実などを使って、いろいろなものを工夫して作り、どうしたらうまく作ることができるか友達と教え合う。	・思いや願いをもって、作品を作ろうとしている。 ・出来上がった作品を友達や先生に見せ、そのよさを伝えようとしている。	・みんなで楽しむことができるルールを考えて遊んでいる。 ・安全に気をつけて作ったり、後片付けの仕方を工夫したりしている。	・安全な道具の使い方やポイントが分かっている。 ・約束やルールを変えたり工夫したりすると、遊びが楽しくなることに気付いている。

(5) 本時の指導

① 目 標

生活や身近な自然から秋を見付け、友達と話したり紹介したりする活動を通して、身近な自然の移り変わりに気付くことができる。

② 準備・資料

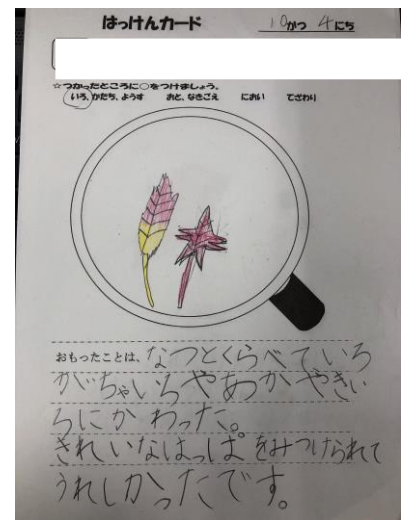
- ・ 写真(夏のバツヤやあさがお、夏の空、校庭探検の様子、去年の公園探検の様子)
- ・ 発見カード ・ 振り返りカード ・ 発表する時の約束カード

③ 展 開

☆思考力・表現力を育む活動

学 習 活 動 ・ 内 容	指導上の配慮と支援 ○ 評価
1 本時の学習問題を知る。 なつとあきでちがうところはなんだろう。 ・涼しくなった。 ・葉っぱの色が変わる。 2 本時の学習課題を確認する。 じぶんのみつけてきたあきを、みんなにしょうかいしよう。 3 見付けた秋を友達に紹介する。 (1) 校庭で見付けた秋を紹介し、夏と比べて何が変わったのか話し合う。(ペア) (2) 紹介するときや聞くときに気を付けることを確認する。 (3) 見付けた秋の紹介をする。 (グループ・全体) ぼくは、校庭でバッタを見付けました。夏に見たバッタよりも大きくなっているびっくりしました。 4 学習のまとめをする。 (1) 本時の学習を振り返る。 ・自分の見付けた秋を友達に紹介することができた。 ・バッタは夏よりも大きくなることがわかった。 ・花は枯れてきていることがわかった。 (2) 次時の学習を確認する。 ・「はくさんまえこうえんたんけん」に向けて、準備をしよう。	・前時の学習を振り返り、夏の様子を写真カードで提示し、季節によって自然の様子が違うことを確認する。 ・前時は、校庭の秋を探しに行ったことを振り返り、それを友達に紹介することを伝え、本時の課題につなげる。 ・校庭で秋探しをしている子供達の様子や、見付けたバッタや草花を提示することで、夏と比べてどのようなところが変わったのか具体的に話すことができるようにする。 ・気付いたことや思ったことを自由に話すよう言葉をかける。 ・話すときや友達の話を聞くときの約束を提示する。 ☆見付けてきた秋について、ワークシートを基にグループで紹介するよう言葉をかける。 ・紹介する順番を指示し、活動が円滑に進むようにする。 ☆各グループから1名抽出し、クラス全体で共有することで、児童の気づきをより深められるようにする。 ・ふり返しカードを活用し、児童一人一人の気づきを見取れるようにする。 ○身近な自然の移り変わりに気付くことができたか。(観察、振り返りカード、発表) 【目標を達成した児童の姿】 自然の移り変わりに気づき、「バッタはなつよりもおおきくなっていた。」などの言葉で振り返りカードにまとめようとしている。 ・昨年度の公園探検の様子を提示することで、活動の見通しをもてるようにする。 ・本時の学習をもとに、公園探検で注意することやどんな秋を見付けるか考えることを伝え、白山前公園探検への意欲付けをする。

(1) 発見カード



きょうのはなまるカード 10月9日 午後 [redacted]

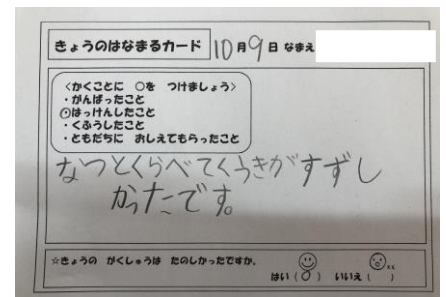
〈かくことに ○を つけましょう〉

- ・がんばったこと
- ・ほっけんしたこと
- ・くまうしたこと
- ・えもだちに おしえてもらったこと

なっとくらべてあきは、すずしくな
たりは、のいろがあかやめいろや、
るになるのをはじめていました。

☆きょうの がくしゅうは たのしかったですか。 ()

楽しい (○) いそいそ ()



(1) 成果

- ・ペアやグループでの話し合いの場を設けることで、自然の移り変わりについて気が付くことができた。
- ・ペアで話し合いをしてから、発表するという流れにしたことで、自信をもって挙手をし、自分の考えを発表することができた。
- ・発表するときの約束を提示したことで、見通しをもち円滑にグループ活動を行うことができた。
- ・公園探検に行って秋を探す際に、何に気を付ければいいのか児童自ら考えることができた。

- ・楽しただけで終わっている児童もいたので、言葉かけをするなどして、次の学習につながるような工夫が必要だった。
- ・話し合いができない児童やワークシートの記入ができない児童には、話し合いの仕方やワークシートの記入例などを個別に持たせるなど、工夫する必要があった。
- ・ワークシートや振り返りカードなどの評価の明確にする必要があった。